学校番号	J1003

令和５年度　音楽科

学年	1	週授業コマ数	1.5	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	52
使用教科書	中学生の音楽、器楽（教育芸術社出版）						
副教材等	アルトリコーダー						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」ことを年間通して学習します。音楽の学習は、クラスメイトとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。協力して作り上げることが大切です。
・学習の到達度は、授業内での実技テストや筆記テスト、配付するワークシートの取り組み内容で評価します。

2　学習の到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（３）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	・身体の使い方と発声 ・校歌 ・COSMOS	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、意図をもって歌うことができる。 c:少人数のグループ歌唱に主体的に取り組み、アンサンブルを通して歌う喜びを味わうことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	器楽	アルトリコーダー ・音階(ド～1オクターブ) ・喜びの歌 ・かっこう リズムアンサンブル	a:楽器の音色や特徴を理解し、奏法を身に付けている。 b:音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、意図をもって演奏できる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	
	鑑賞	・春	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 C:楽器の音色に興味関心を持ち、それぞれの違いを味わいながら聴くことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート
2学期	歌唱	・夏の思い出 ・空も飛べるはず ・赤とんぼ	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:歌詞や譜面上の指示を理解し、どのように歌いたいか意図をもって歌うことができる。 c:歌う喜びを味わい、主体的に取り組むことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	器楽	アルトリコーダー ・カントリーロード　他	a:曲想と楽器の音色や特徴の関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、表現方法を工夫し、意図をもって演奏できる。 c:少人数のアンサンブルを通して、アルトリコーダーの奏法を身に付け、創意工夫において主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 観察	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	鑑賞	魔王 ・ピアノ伴奏版(男声・女声) ・オーケストラ版 ・ピアノソロ版	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 c:歌手の声色や楽器の音色に興味関心を持ち、それぞれの違いを味わいながら聴くことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

3学期	歌唱	・浜辺の歌 ・この星に生まれて	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:歌詞や譜面上の指示を理解し、どのように歌いたいか意図をもって歌うことができる。 c:歌う喜びを味わい、主体的に取り組むことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察
	器楽	アルトリコーダー ・J-POP 作品 箏 ・基礎的な奏法	a:曲想と楽器の音色や特徴の関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、表現方法を工夫し、意図をもって演奏できる。 c: アルトリコーダーと箏の奏法を身に付け、創意工夫において主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 観察	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	鑑賞	箏曲　六段の調べ	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 c:主題の変化に着目しながら作品の構造に興味関心を持ち、音楽の良さや美しさを味わいながら主体的に取り組むことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1003

令和５年度　音楽科

学年	2	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学生の音楽、器楽（教育芸術社出版）						
副教材等	アルトリコーダー						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」ことを年間通して学習します。音楽の学習は、クラスメイトとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。協力して作り上げることが大切です。
・学習の到達度は、授業内での実技テストや筆記テスト、配付するワークシートの取り組み内容で評価します。

2　学習の到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（３）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	・夢の世界を ・世界が一つになるまで(手話歌) ・ボイスアンサンブル　野菜の気持ち	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、意図をもって歌うことができる。 c:少人数のグループ歌唱に主体的に取り組み、アンサンブルを通して歌う喜びを味わうことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	器楽	アルトリコーダー ・音階(全音域) ・カノン　他	a:楽器の音色や特徴を理解し、奏法を身に付けている。 b:音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、意図をもって演奏できる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	
2学期	歌唱	・夏の思い出 ・荒城の月 ・合唱コンクールの曲	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:歌詞や譜面上の指示を理解し、どのように歌いたいか意図をもって歌うことができる。 c:歌う喜びを味わい、主体的に取り組むことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	器楽	アルトリコーダー ・放課後の音楽室 ・ラヴァーズコンチェルト　他 ギター ・奏法基礎 ・放課後の音楽室	a:曲想と楽器の音色や特徴の関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、表現方法を工夫し、意図をもって演奏できる。 c:少人数のアンサンブルを通して、アルトリコーダーの奏法を身に付け、創意工夫において主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 観察	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	鑑賞	歌劇「アイーダ」	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 c:歌手の声色や楽器の音色に興味関心を持ち、それぞれの違いを味わいながら聴くことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

3学期	歌唱	・ふるさと ・群青	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:歌詞や譜面上の指示を理解し、どのように歌いたいか意図をもって歌うことができる。 c:歌う喜びを味わい、主体的に取り組むことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察
	器楽	アルトリコーダー ・J-POP 作品 箏 ・さくら	a:曲想と楽器の音色や特徴の関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、表現方法を工夫し、意図をもって演奏できる。 c: 少人数のアンサンブルを通して、アルトリコーダーの奏法を身に付け、創意工夫において主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 観察	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	鑑賞	勧進帳	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 c:作品の構造に興味関心を持ち、音楽の良さや美しさを味わいながら主体的に取り組むことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1003

令和５年度　音楽科

学年	3	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	中学生の音楽、器楽（教育芸術社出版）						
副教材等	アルトリコーダー						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」ことを年間通して学習します。音楽の学習は、クラスメイトとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。協力して作り上げることが大切です。
・学習の到達度は、授業内での実技テストや筆記テスト、配付するワークシートの取り組み内容で評価します。

2　学習の到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（３）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	・花 ・やさしさに包まれたなら	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、意図をもって歌うことができる。 c:少人数のグループ歌唱に主体的に取り組み、アンサンブルを通して歌う喜びを味わうことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	器楽	アルトリコーダー ・音階(全音域) ボディパーカッション ・Plymouth Rock	a:楽器の音色や特徴を理解し、奏法を身に付けている。 b:音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、意図をもって演奏できる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	
2学期	歌唱	・椰子の実 ・心の瞳 ・帰れソレントへ	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:歌詞や譜面上の指示を理解し、どのように歌いたいか意図をもって歌うことができる。 c:歌う喜びを味わい、主体的に取り組むことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	器楽	アルトリコーダー ・いのちの名前　他 ギター ・ドラえもん	a:曲想と楽器の音色や特徴の関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、表現方法を工夫し、意図をもって演奏できる。 c:少人数のアンサンブルを通して、アルトリコーダーとギターの奏法を身に付け、創意工夫において主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 観察	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	鑑賞	モルダウ	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 c:楽器の音色に興味関心を持ち、それぞれの違いを味わいながら聴くことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

3学期	歌唱	・心の中にきらめいて ・早春賦 ・Let it be	a:歌唱表現の特徴を理解し、姿勢や呼吸などの身体の技能を身に付けている。 b:歌詞や譜面上の指示を理解し、どのように歌いたいか意図をもって歌うことができる。 c:歌う喜びを味わい、主体的に取り組むことができる。	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察
	器楽	アルトリコーダー ・J-POP 作品 ギター ・大きな古時計 箏 ・六段の調べより初段	a:曲想と楽器の音色や特徴の関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付けている。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、表現方法を工夫し、意図をもって演奏できる。 c: 少人数のアンサンブルを通して、アルトリコーダーや箏の奏法を身に付け、創意工夫において主体的・協働的に取り組んでいる。	実技テスト 観察	実技テスト 観察	観察 ワークシート
	鑑賞	ボレロ 敦盛	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 c:作品の構造に興味関心を持ち、音楽の良さや美しさを味わいながら主体的に取り組むことができる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度